

なごみかぜ工房

2026年度のなごみかぜ工房は

1. 【支援について】

法人の基本理念である

“障がいがある人が地域で暮らし続けていくために必要な支援を、利用者さんの立場に立って実施する”という考えを軸に、より良い支援を継続していきます。

就労継続支援 B 型事業所として、働く事を通じて生活リズムの安定や社会参加の実感を得られるよう、一人一人の特性や体調に応じた支援を丁寧に行っていきます。

また、“地域でくらし続ける事を応援する”という基本方針のもと、ご家庭との連携をより一層強めていきたいと考えています。日々の様子や小さな変化を共有し、安心して通所できる環境づくりに努めます。

2. 【工賃について】

パンの製造・販売を中心とした就労活動と、下請け作業を組み合わせながら事業を運営しています。工賃は利用者皆さまの働きが形となって表れる大切な指標であり、生活の安定や意欲の向上にも直結するものと考えています。

主力となっていますパンの販売についてですが、偶数月の第四土曜日に開催している“パンマルシェ”では、地域の皆様との大切な接点であり、長年積み重ねてきた甲斐もあり、ご来場者様や売上げも増えており人気のイベントとなってきています。

また、4月より新規販売先もスタートする事になりました。

下請け事業としては、昨年度終了してしまった企業もあり、新規開拓をし安定した工賃を確保し、さらなる向上を目指していきます。

3. 【スタッフについて】

昨年課題であった人員体制については、新たに3名の支援員を迎え支援体制が整ってきました。

今年度は、支援の質をさらに高めるため、人材育成を課題としていきます。経験年数に関わらず、お互いに学び合い、報連相をし意見を共有できる職場作りを進め、支援の標準化と質の向上を図ります。

職員一人ひとりが理念を理解し、同じ方向を向いて支援にあたることで、結果として利用者支援の充実につながると思います。

〈文責・田中唯夏子〉